

地域農業の将来を見据えた JA総合事業を展開し 日本一のJAを目指します



代表理事組合長

佐藤 謙 悦

改めて厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、様々なことが大きく変化した年でありました。

一つは「平成」から「令和」への改元です。新天皇即位に伴う大嘗祭が執り行われました。天皇陛下が五穀豊穡に感謝し、国家国民の安寧を祈念される儀式です。まさに「農は国の基（もとい）」です。改めて、天皇陛下の御即位を御祝い申し上げます。

もう一つは、JAグループを取り巻く環境の変化です。

政府の進める農協改革により、全中は一般社団法人へ、県中央会は連合会へ移行となりました。また、会計監査人監査が導入された、会計監査環境下に置かれておりますが、JAあきた白神としてより一層の自己改革を実現し「あつ

てよかったJA」から「なくてはならぬJA」と皆さまから求められるJA組織運営を役員一丸となって取り組んで参ります。

農業を取り巻く環境についても日々変化し続けており、就業人口の減少に加え、後継者不足や高齢化が加速化しており、地域の農業の継続に支障をきたしかねない喫緊の課題となっております。

こうした状況を「JAあきた白神無料職業紹介所」の活用促進や農福連携等、関係機関と協力してこの課題を打開し、各地域の農業・将来像について農家組合員のご意見・ご要望等を反映した地域営農ビジョンの実践による産地づくりを進めて参ります。

農作物の生産・販売状況については、高温少雨傾向の一年となり農家組合員を苦しませる天候が続きましたが、各々の徹底した栽培

新年あけましておめでとうございます。

組合員並びに日頃より当組合を御利用頂いております皆様におかれましては、ご家族とともに輝かしい令和二年の新春を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年中は本組合事業への特段の御理解と御協力を賜りましたこと、